

38期生 平成26、27、28年度

『こえる』38期



学年主任から一言 榎本 隆一



38期は1年次より、今までの自分を『超える』、様々な困難を乗り『越える』そんなことを目標に3年間指導してきました。そのために、必要以上に厳しく接したこともありましたが、しかし、必死になり多くの生徒が3年生に進級をし、40周年記念の体育祭を見事に盛り上げ、各団を牽引するという大役を見事にやり遂げてくれました。

きっと、38期ならどんな壁も乗り『越え』、今までの自分を『超え』夢を叶えてくれると信じています。そして、最高の卒業式を迎えてくれるでしょう。



学校の主な行事

- ◇修学旅行 北海道 富良野
- ◇校外学習 1年 春：夕日の丘農場
秋：大阪城
- 2年 春：京都
- 3年 春：ならまち

担任一覧

38期生	1年	2年	3年
学年主任	吉野 達也	吉野 達也	榎本 隆一
1組	榎本 隆一	泉本 貴彦	田中 正孝
2組	泉本 貴彦	小林 妙子	川本 雅哉
3組	太田 寛人	藤岡 裕也	小次由里子
4組	小林 妙子	櫻井 裕子	小林 妙子
5組	藤岡 裕也	川本 雅哉	藤岡 裕也
6組	櫻井 裕子	榎本 隆一	泉本 貴彦
7組	川本 雅哉		

平成26年・社会の動き

- ◇「STAP細胞」真偽騒動
- ◇消費税8%スタート
- ◇ソチ五輪フィギュアで羽生が金
- ◇青色LED発明の3氏にノーベル賞
- ◇錦織圭全米オープンで準優勝
- 〈流行語〉
「ダメよ〜ダメダメ」 「ありのまま」 「壁ドン」





39期生 平成27、28、29年度

輝け39期!



学年主任から一言

山畑 須美子



39期生は、「輝く」をテーマにスタートしました。生徒たちが3年間で自分を磨き、「キラキラ輝いて卒業してほしい!」そんな担任団の想いでつけました。1年生の文化祭では、学年企画で巨大紙コップアートの製作をしました。膨大な作業でしたが、みんな一所懸命頑張ってくれました。2年になって、男子エッサッサ・女子マスメームをする中で体育祭をようやく自分たちのものだと感じられ、3年になったときを想像し行動し始めました。1年「慣れる」2年「鍛える」3年「叶える」。本校の教育目標にそって、一步一步あゆんでいます。輝け39期生!今後の成長が楽しみです。



学校の主な行事

- ◇修学旅行 北海道 (富良野、札幌、小樽)
- ◇校外学習 1年 春: 信貴山のどか村
秋: 飛鳥
- 2年 春: 神戸

担任一覧

39期生	1年	2年
学年主任	山畑須美子	山畑須美子
1組	白瀧 朋枝	愛洲 智子
2組	杉山 敦史	仙崎 裕右
3組	花岡 宗憲	谷下 未来
4組	谷下 未来	杉山 敦史
5組	仙崎 裕右	木次 裕一
6組	愛洲 智子	花岡 宗憲
7組	木次 裕一	

平成27年・社会の動き

- ◇大村智さん梶田隆章さんノーベル賞
- ◇ラグビーW杯 日本3勝
- ◇「イスラム国」日本人殺害
- ◇マイナンバー始まる
- ◇安全保障関連法が成立
- 〈流行語〉
- 「爆買い」「トリプルスリー」「一億総活躍社会」



40期生 平成28、29、30年度

BLUE CONNECTION
~様々なつながりを大事にする40期を目指して~



学年主任から一言

吉野 達也



人数は少ないが、強固な“つながり”を持って3年間を過ごしたい！そんな思いを込めて40期生は日々の学校生活を頑張っています。入学式・オリエンテーション・授業・遠足・テスト・体育祭・・・。

目まぐるしく変化する学校生活にまずは「慣れて」いき、進級・卒業を目指してほしいと思います。学年の先生たちは、全力で40期生を指導し、サポートしていきます。それを素直にかつ純粋に受け止め、共に頑張り、1日1日成長してくれることを期待しています。

40期生はスタートしたばかり。柏原東高校で沢山の思い出と、沢山の“つながり”を作っていきましょう。



学校の主な行事

◇校外学習

1年 春：夕日の丘農場

担任一覧

40期生	1年
学年主任	吉野 達也
1組	淵上 孝平
2組	川向 直美
3組	中西 宏彰
4組	草葉 康暢
5組	大山 貴史
6組	船引 陽兵

平成28年・社会の動き

- ◇長野スキーバス転落事故
- ◇北朝鮮がたびかさなるミサイル発射
- ◇「平成28年熊本地震」発生
- ◇『ポケモンGO』の日本配信開始
- ◇米オバマ大統領広島を訪問





～未来の柏原東校生へ～

10年後50周年を迎える柏原東高校は、どんな学校に生まれ変わっているか楽しみでなりません。今、在校生たちは自分の未来に向かって賢明に、忍耐強く努力を続けています。就職を希望しクラブ活動を懸命に頑張っているもの・看護師、助産婦をめざし苦学と格闘しているもの・未来のキャビンアテンダントを夢見て外国語大学をめざすもの。柏原東生は、自分の力で未来を切り開こうとしています。未来の柏原東高校へ。地道にこつこつ努力し、未来を切り開く強い精神力を受け継ぎ、さらなる飛躍を楽しみにしています。

山畑 須美子(首席・39期学年主任)

祝創立40周年！9年前に転動してきたころと比べると、学校も綺麗になり、生徒も落ち着いてきたように思います。偶然、編集委員となり、懐かしい思い出がよみがえってきました。私の教員生活と重ねながら振り返る機会となりました。

一つ目のメッセージは「継続は力なり！」どんなことでも続けていけば、きっと活路が開けてきます。諦めずにコツコツ取り組みましょう。二つ目は「人生は出会い！」縁あって柏原東のクラスやクラブやその他で出会った人は、人生の中でかけがえのない存在です。

素晴らしい出会いを大切に、更に友人を増やし、心豊かな人生を送りましょう。50周年に向けて、輝かしい歴史を刻まれることを祈念しております。

伊藤 万紀子(指導教諭・保健部長)

生徒1人1人が「キラッ」と光り、それが集まって輝きを放つ学校、「柏原東」。何事にも積極的に、かつ、本気で取り組むことにより、毎日の学校生活がより一層充実したものになる。高校生活に「慣れ」、自らを「鍛え」、そして本気で将来の夢を“叶える”学校として、いつまでも輝き続ける「柏原東」であってほしい。10年後、20年後も、「信貴生駒 山並み望む この岡辺」に、生徒たちの元気な姿、活発な声、満面の笑顔が溢れていることを願っている。

吉野 達也(首席・40期学年主任)

柏原東は私の教員生活の中で、最も充実した学校の一つになっています。生徒たちとともに泣き、笑い、時には叱り、そして高めあい。これほどまでに本気で関わってきた毎日はずべて大切な時間となりました。この先、10年、20年、生徒、教員関係なく本気で関わり続けられる学校でありますように。この先いろいろな変化が待っていることと思いますが、そのそれぞれにしなやかにのびやかに順応しながら、「柏東」らしさをなくさないでいてください。

玉井 一実(教務部長)

進路部長として3年間、柏原東の進路を見てきました。しかし、多くの生徒が切羽詰った状態になってから始めて行動を起こすように思えます。余裕を持って計画的にやれば、満足できる結果が得られるのに・・・といつも思っています。学校では、より良い結果が得られるよう1年次から計画立てて進路指導を行っています。学校の指導を十分理解して、自分の進路を開けてください。辛くてもブレーキをかけ限界をつくらず、将来の進路に向かって躍進してください。10年、20年後の柏原東の未来を明るくするために3年間しっかり鍛えられてください。

河村 茂(進路指導部長)

「未来の柏原東へ」という課題をいただき、10年後に思いをはせながらキーボードを叩こうとしましたが、両手は宙に浮いたままでした。

私は「未来の柏原東」に期待する大それた教員でもなく、また輝かしい「未来の柏原東」に寄与できる力もありません。

取りあえず、日々子どもたちと共に文化的実践を積み重ねていけたらと思っています。

高橋 靖直(生徒指導部長)

縁あって30周年の年に「かしとん」に転勤し、10年以上にわたり、生徒会という役割を通じて、静かに、でも、大きく変わりゆく姿を目にすることができました。中でも、多くの生徒、教員、卒業生がクラブの公式戦の応援に駆けつけ、声をかけている姿は、私にとって最もこだわった部分でした。柏原東の団結力をこれからも期待しています。

私の前任校(初任校)は統廃合の影響で消滅してしまいました。残っていた校舎も取り壊され、現在では跡形もなく、ただの住宅地になってしまっています。その姿を見るにつけ、自分の青春の場を喪失したような気持ちにさせられます。柏原東の卒業生、在校生、未来の生徒にそのような思いをさせないよう、「かしとん」の伝統のタスキをつなげていてください。

仙崎 裕右(英語科)

時代とともに変化する教育に求められる中で、柏原東高校に求められるものは変わっていきます。しかし、柏原東高校が生徒に求めるものの根幹は変わってはいけないものだと感じています。「熱く・厳しく・あたたかく」生徒と向き合う学校。礼儀・マナーにうるさい学校・・・あつといふ間に過ぎていく3年間の高校生活を通じ、驚くほど成長していく生徒たちが、「厳しかったけどまあおもしろかったな」と笑って卒業していく光景がこの先も続いていくことを願っています。

川田 明寛(生徒会部長)

柏原東高校は、私が大阪府に採用され、初めて赴任した学校です。様々な生徒と接し、生徒たちと切磋琢磨し、7年もの間過ごしてきました。私の中で感じた柏原東といえば、『厳しくもあたたかい指導』が思い浮かびます。これを崩すことなく、地域に愛され、生徒も柏原東を愛する。何年たっても、そういった学校であり続けてほしいと思います。

私にとってある意味、第2のふるさととも言える『柏原東高校』が関わった人々の誇りあってほしいと願うばかりです。柏原東の更なる飛躍を信じて・・・

椋本 隆一(38期学年主任)



演劇部



演劇部は、少人数での活動が続いていましたが、現在は3年生5人、2年生2人、1年生2人の9人で活動しています。すこしずつ活気を増し、身体を動かすことも身につけてきました。脚本も自分たちで書こうと、今、何度も何度も書き直しながら取り組んでいます。今年は、初めての合宿にもチャレンジします。文化祭では、昨年は絵本の読み聞かせを行いました。今年は体育館での舞台を予定しています。

茶道部



現在茶道部は、男子2名、女子5名の合計7名で活動しています。4年前から男子部員が毎年入部してくれています。体育祭でも運動部さながらの行進ができる元気なクラブです。

30周年以降、文化祭でクラブ部門優勝を2回勝ち取りました。毎年参加させていただいている学校茶道の会で、平成25年度には、立礼席の当番校となり貴重な体験し大きな成長となりました。毎年テーマを考え、お茶席をアレンジした文化祭は、クラブ員が一丸となる役割を果たしています。「お月見」「後の雛」「ハロウィン」「クリスマス」「氷の世界」「トトロの世界」、今年は、「金の茶室」がテーマです。「氷の世界」の年は、大きな鎌倉をダンボールでつくり、鎌倉の中のお茶席はとても好評でした。今後も偉大な石井宗喜先生に作法をきちんと学び、文化的な活動を続けていきたいと思っています。



書道部



現在部員は、2年生女子2名、1年生男子4名女子3名の計9名。書道室にてほぼ毎日活動中。夏休みは月火金曜日の午前中に書道室にて活動。

＜対外活動状況＞

- 大阪高校書道展出品（平成25、26年には大阪市立美術館壁面、最大16m使用）
- 大阪高校芸術文化祭出品（毎年1点以上入選）
- 大阪高校進学フェア、メイン会場のタイトル作品制作。

＜校内活動状況＞

- 文化祭展示及び体育館前広場にて、パフォーマンス書の作品（4m50×9m）制作。
- 大教大留学生との文化交流会での大字リレー作品制作と留学生体験指導。
- 学校パンフレット、題字「柏原東」の揮毫。

理科部



理科部は1年生3人、2年生1人の計4人で活動しています。いろいろな動物のペーパークラフトを作ったり、カルメ焼きを作って重曹の働きを調べたり、うみほたるの発光実験、川の水や雨水の水質調査、勾玉づくりや、トンボ玉づくりなど色々な実験をして、そのレポートをまとめ、文化祭で発表しています。理科というと難しく考えがちですが、理科という活動を幅広くとらえた面白い実験をしています。実験が失敗しても、なぜだろうという発想から次の実験につながったりもします。

美術部



美術部員は現在、3年生2名で活動しています。放課後美術室に集まり、絵画（油絵、アクリル画）、立体造形、キャンドルやアクセサリ作りなど、部員がやりたいことや使いたい素材を自分たちで考え、楽しみながら制作しています。

なお、今年は部員達にとって初めての校外展示である、大阪市立美術館にて開催される夏の大阪府高等学校美術・工芸展に出品予定です。また秋には受賞を狙っての文化祭展示もあり、様々な目標に向かって充実した活動をおこなっています。

放送部



お昼休みにおべんと持って集まって、音楽をかけ、体育祭の時にはアナウンスをする、という形で細々と続いていた放送部も、この数年で大きく様変わりしました。部員が増え、気がつけば文化系クラブの最大の勢力になり、午後の活動では発声練習だけでなく、基礎訓練として外での運動を取り入れ、文化祭でドラマCDを作成し賞をいただくなど、活動内容も充実してきました。その甲斐あって、様々な行事・講演会でマイクの設置を行ったり体育祭、文化祭のアナウンスだけでなく、学校説明会の司会を任されたりと、学校になくはない存在になっています。

吹奏楽部



吹奏楽部は現在、3年（38期生）5名、2年（39期生）4名、1年（40期生）2名の計11名で活動しています。文化祭でのクラブ発表だけでなく、入学式、卒業式の入退場や体育祭の入場など、さまざまな学校行事に参加する中で連帯感とハーモニーを作り上げています。少ない人数ではありますが、日々の積み重ねでしっかりとしたハーモニーを奏でられるようになってきました。

部員の入れ替わりも多く、大きな舞台や大曲に挑戦することがなかなかできていませんが、昨年度の文化祭ではPTAの保護者の方々と合同演奏をするなど、新しい試みにチャレンジしています。

さまざまな経験を基に、さらなるステップアップを目指して日々がんばっています。これからも応援をお願いします。

漫画研究部



漫画研究部は、現在3年生2名、2年生2名、1年生5名の合計9名で活動しています。アニメや絵を描くことが好きな生徒たちが集まり、「一日一絵」を目標に、それぞれが楽しく絵を描いています。文化祭では、部員全員が各自5枚ずつ好きな絵を描いて作成した冊子を出品したり、展示を見に来てくださった人に好きな絵を描いてプレゼントするという催しをしたりします。また、生徒会から依頼されて体育祭の「進行プログラム」の表紙の絵を描くという仕事もしています。



ダンス部



現在、3年生6名、2年生3名、1年生3名の計12名で活動しています。生徒たち自身で振りを考え、下足室の北側で練習しています。ストリート系のダンスをメインに構成を考えています。近年は、文化祭の開会式でオープニングを飾ったり、外部のイベントでは、毎年11月に大阪府立体育館や咲洲庁舎での「スポーツフェスティバル」、1月に国分中学校での「地域交流会」に参加しています。元気いっばいの女子たちが、イベント前に見せる真剣な表情はとてもカッコいいです。

ラグビー部



イングランドで開催されたワールドカップで大躍進を遂げた日本代表の影響を受け、日本中がラグビーブームとなった平成27年。本校のラグビー部は、平成20年に発足し、活動を続けてきました。過去には33期生の治郎丸巧君が、第7回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会（U-18）で優勝し、第91回全国高等学校ラグビーフットボール大会において開催されたU-18東西対抗戦に西軍代表としてプレーしました。

しかし、その後は部員不足に悩まされ、現在は休部中となっています。

柔道部



平成4年2月に和歌山県で行われた近畿大会に出場し、同平成4年に開催されたインターハイ大阪予選で大阪3位になるなど、多くの輝かしい戦歴を持つ柔道部ではありますが、近年の趣味・興味の多様化のあおりを受け、年々部員が減少し、35期生の卒業を最後に部員数が0となり、現在休部中となっています。

陸上部



陸上部は、現在、男子19名、女子5名、マネージャー2名で活動しています。部員たちは大阪高校インターハイ中央大会出場に向け日々練習を重ねています。「チーム一丸負けてたまるか」をスローガンに互いに刺激し合い、4年前には全国インターハイに選手を出場させることができました。毎日の厳しい練習もみんなと一緒に明るく乗り越えられる。そんなチームを目指してこれからもチーム一丸で頑張っていきます。

応援よろしくお祈いします！！

野球部



野球部は現在、3年生9名、2年生8名、1年生4名、マネージャー3名1名、1年生3名、総勢25名で活動しています。今年（2016）の春季大会では2回戦に同志社香里高校を延長11回でサヨナラ勝ちし、3回戦に進出しました。

野球部創部は1977年、学校創立と同時に伝統のあるクラブです。2期生ではプロ野球選手も輩出しています。また2011年、夏の大会93回大会で、ベスト32という成績を残しています。毎年、夏の大会では、幅広い年代のOBが球場に足を運んで頂き、心強く思っています。

伝統ある野球部で活動できることに部員、顧問は感謝し、良き伝統を継承し、全員一丸で活動したいと考えます。

テニス部



テニス部は夏の大会が終了し、3年生が引退したため2年生8人と1年生8人の16名で活動しています。総体や、サマーテニストーナメント・スプリングテニストーナメントなどの各大会で、本戦への出場を目指して日々練習を積み重ねています。

テニス部はここ2・3年で大幅に部員が増えたクラブの一つです。全員が、テニスプレーヤーとしてだけでなく、クラブ員として『クラブを作り上げる』ことを考え、取り組んでいます。



サッカー部



サッカー部員は現在、1年生10名、2年生5名、3年生7名、マネージャー4名の計26名で活動しています。春夏のインターハイ予選、秋冬の総体予選で3回戦以上への進出をチームの目標として日々の練習に打ち込んでいます。

クラブの方針としては、まず何より学校生活を大切にするという、学業との両立を掲げています。また、練習では、走りきることや思ったこと・感じたことをとことん伝え合うことなど、「やりきる」ことをテーマとして掲げ、取り組んでいます。

男子バスケットボール部



現在、3年生9名、2年生4名、1年生5名、マネージャー3名の計21名で活動しております。身長や体格は他チームに劣りますが、とにかく“一生懸命頑張るチーム”として一目置かれるチームになってきました。公式戦大阪ベスト32（中央大会出場）を目標に、毎日厳しく、激しく、そして熱く練習を頑張っております。ただ頑張るだけではなく、「誰からも愛されるチーム」をコンセプトに、日々の学校生活や礼儀、勉学にも力を注ぎ、関わっていただいている沢山の方々に応援していただけるチームになれるよう努力しております。

これからも、柏原東男子バスケットボール部 Bouncy Rabbits の応援をよろしくお願いいたします。

（柏原東男子バスケ部ブログ <http://bouncyrabbit.sblo.jp/s/>）

女子バスケットボール部



女子バスケットボール部は現在、1年生4名、2年生1名、3年生4名の計9名で活動しています。

部員は冬の新人戦・春夏の公式戦での勝利を目指し、日々練習しています。

支えてくれている周りの人への感謝の気持ちを忘れず、人として大きく成長し、自らの姿と勝利をもってみんなに恩返しのできるチームとなれるよう、少ない人数ではありますが、どんなことにも“一生懸命”取り組み、支え合いながら頑張っています。

女子バレーボール部



現在、3年生5名、2年生5名、1年生2名の計12名で活動しています。過去には人数不足のため、他校と合同チームを組まなければならないこともありましたが、近年は入部する生徒も増え、柏原東高校単独で公式戦に出場を続けることができています。また昨年は、目標である3部昇格を達成する目前のところまで勝ち進むことができ、着々と力をつけている生徒たちと共に日々練習を頑張っています。

昨年ユニフォームを一新し、新たな気持ちでこれからも元気いっぱい頑張っていきます！

卓球部



卓球部の部員は現在2年生男子1名、3年生男子3名の計4名で活動をしています。

昨年は大阪高等学校卓球選手権大会男子シングルスで4回戦まで進むことができました。今年は昨年以上の結果を残すことができるよう日々の練習をしています。

学業、クラブ活動の両立をめざしています。クラブ活動だけに熱心になることなく、学業でも結果を残し自分の夢を実現できることをめざしています。日々の生活から、努力を惜しむことのないよう活動していきます。

バドミントン部



バドミントン部は、現在、男子1名、女子9名の10名で活動しています。

歴史は古く、前高体連バドミントン部専門委員長の大住先生が始められました。その後、営々と部員が途切れることもなく、今日まで至っています。現在の主顧問（13年目）になってからも、多くの先生方に支えられながら毎日の練習に励んでいます。弱小チームなので戦績はなかなかあげられませんが、昨年（平成27年）は団体戦で1勝をしました。

5年前から、柏原市立中学との月1度の合同練習を実施し、中高連携の一翼を担っています。今後のご支援よろしく申し上げます。



剣道部



剣道部は現在3年生男子2名、女子1名、1年生女子1名の計4名で活動をしています。

昨年は大阪府高等学校剣道選抜大会で三回戦まで進出することができました。みんなで声を掛け合いながら、上を目指していけるよう、努力しています。

また、クラブ活動は学校生活あつてのもの、という基本的な考えのもと、学校生活を大切にし、学業との両立を目指しています。

「忍耐」のスローガンの下、日々の練習に耐え抜き、明るく、楽しく結果を残していけるよう、部員ともども、がんばっていききたいと思います。

空手道部



空手道部員は現在、3年生男子2名女子1名、2年生男子1名、計4名と少人数で活動しています。経験者も未経験者もいます。その中で、基礎から組み手まで自分たちで試行錯誤しながら頑張っています。また、技術だけでなく礼儀も大事にしています。

大会には今年出場しましたが、惜しくも勝てませんでした。目指せ1勝を目標に日々、練習に励んでいます。

水泳部



水泳部は現在、3年生1名、1年生2名の3名で活動をしています。夏はプールで2000～3000m程の距離を泳ぎ、冬にはランニングや筋力トレーニングを行っています。

1年生が入部するまでは人数が少なく、活動のできない期間もありましたが、現在は部員全員が協力して日々活動しています。

8月の東大阪市民水泳大会、9月の新人戦に向け、一丸となってトレーニングに励んでいます。

分掌の記録10年

教務部

36期生より新教育課程（36期生は、数学・理科のみ先行実施）になり、数学・理科に新しい科目が設置された。平成22年度入学生までの教育課程は、2年次より3つのコース選択「総合文化コース」「情報基礎コース」「就職教養コース」であった。

翌年度より、従来の選択組合せによる類型を生かしつつ基礎学力の充実を図るため、2年生の選択を整理し、3年生で2つの選択類型「スポーツ文化コース」「進学コース」を設けた。さらに、平成24年度入学生からコースの名称を「ベーシックコース」「アドヴァンスコース」に変更し、さまざまな生徒の夢をかなえるため、また、将来の進路保証を実現させる確かな学力を身に付けられる教育課程へと進化させている。

現在の教育課程は下記のとおりで、37期生から実施されている。

現行教育課程

教科	科目	1年 共通	2年 共通	3年 共通	3年選択類型	
					ベーシックコース	アドヴァンスコース
国語	国語総合	5				
	現代文B		3	3		
	古典B		2			
	(学) 国語読解			△2		
	(学) 古典講読			△2		
地歴	(学) 日本語応用			△2		
	世界史A		2			
	日本史B		2	2		
	地理A	2				
公民	(学) 歴史探究					●2
	現代社会			2		
数学	(学) 時事問題				1	
	数学I	3				
	数学II			3		
	数学A		3			
	(学) 基礎数学	2				
理科	(学) 数学演習I					●2
	(学) 数学演習II				1	
	物理基礎				○2	○2
	化学基礎	2				
	化学			▲3		
	生物基礎		2			
	生物			▲3		
	地学基礎	2				
	地学			▲3		
保健体育	(学) 総合科学A				○2	○2
	(学) 総合科学B				○2	○2
	体育	3	3	3		
芸術	保健	1	1			
	(学) ライフスポーツ				○2	○2
	音I・美I・書I	2				
	音II・美II・書II		2			
	音III・美III・書III				2	
外国語	(学) 音楽演習					●2
	(学) 造形表現					●2
	(学) 実用書道				○2	○2●2
	コミュニケーション英語I	4				
家庭	コミュニケーション英語II		4	2		
	(学) スタンダード英語			2		
	(学) アドバンス英語					2
情報	家庭総合	2	2		○2	○2
	社会と情報		◇2			
	情報の科学		◇2			
	(学) ITライセンス					●2
	(学) キャリアビジネス				○2	○2
教科・科目の計		28	28	22	6	6
特別活動 ホームルーム活動		1	1	1		
総合的な学習の時間		1	1	1		
総計		30	30	24	6	6
選択の方法			◇より1科目	△より1科目 ▲より1科目	○より1科目 ●より1科目	

旧教育課程（35期生まで）

教科	科目	総合文化コース					情報基礎コース					就職教養コース					スポーツ文化コース					進学コース				
		I	II	III	Ⅳ選	計	I	II	III	Ⅳ選	計	I	II	III	Ⅳ選	計	I	II	III	Ⅳ選	計	I	II	III	Ⅳ選	計
国語	国語総合	5					5					5					5					5				
	現代文		3					3				3						3					3			
	古典		2		○2	13		2		○2	13		2		○2	13		2		○2	13		2		○2	13
	(学) 現代国語			3		15		3		13		3			15			3			13		3			15
	(学) 日本語入門		△2			17				17		△2			17						17					17
	(学) 国語演習					19					19					19					19		△2			19
	(学) 日本語応用				○2				○2					○2						○2						○2
	(学) 国語読解																									○2
地歴	世界史B	2	2			10	2	2			10	2	2			10	2	2			10	2	2			10
	日本史B			4		10			4		10			4		10			4		10			4		10
	地理A	2				10	2				10	2				10	2				10	2				10
公民	現代社会			3		3			3		3			3		3			3		3			3		3
	倫理				○2	5			○2	5				○2	5				○2	5						5
数学	数学I	3				10	3				10	3				10	3				10	3				10
	数学II			3		10			3		10			3		10			3		10			3		10
	数学A		2			10		2			10		2			10		2			10		2			10
	(学) 基礎数学	2				12	2				12	2				12	2				12	2				12
	(学) 数学演習1		△2			14					14		△2			14					14		△2			14
	(学) 数学演習2				○2				○2					○2						○2						○2
理科	理科総合B	2				10	2				10	2				10	2				10	2				10
	物理I				○2	10				○2	10				○2	10				○2	10					10
	化学I		2	2		12		2	2		12		2	2		12		2	2		12		2	2		12
	生物I		2	2		14		2	2		14		2	2		14		2	2		14		2	2		14
	地学I				○2	16				○2	16				○2	16				○2	16					16
	(学) 総合科学				○2				○2					○2					○2							○2
保健 体育	体育	3	3	2		10	3	3	2		10	3	3	2		10	3	3	2		10	3	3	2		10
	保健	1	1			10	1	1			10	1	1			10	1	1			10	1	1			10
	(学) ライフスポーツ				○2	12				○2	12				○2	12				○2	12					12
	(学) 専攻スポーツ																									
	(学) 総合トレーニング																		2							
芸術	音I・美I・書I	2				4	2				4	2				4	2				4	2				4
	音II・美II・書II		2			6		2			6		2			6		2			6		2			6
	音III・美III・書III				○2				○2					○2					○2							○2
外国語	英語I	4				10	4				10	4				10	4				10	4				10
	英語II		3	3		10		3	3		10		3	3		10		3	3		10		3	3		10
	リーディング				○2	12				○2	12				○2	12				○2	12			2		14
	(学) 文法演習				○2	14				○2	14				○2	14				○2	14			2		16
	(学) 英語基礎演習		△2			18					18		△2			18					18		△2			18
	(学) 英語一般演習				○2				○2					○2					○2							○2
家庭	家庭総合	2	2		○2	4.6	2	2		○2	4.6	2	2		○2	4.6	2	2		○2	4.6	2	2		4	
情報	情報C		2			2		2			2		2			2		2			2		2			2
	(学) ビジネスコンピューティング1					2		2			2		△2		2		2				2					2
	(学) ビジネスコンピューティング2					4			2		4					4					4					4
	(学) ワードプロセッシング				○2				○2					○2					○2							○2
学 教養	(学) 一般教養					0~2					0~2		△2			0~4					0~2					0~2
	(学) 大学教養		1		1	2		1		1	2		1		1	4		1		1	2		1		1	2
教科・科目の計		28	28~29	22	6~7	84~86	28	28~29	24	4~5	84~86	28	28~29	22	6~7	84~86	28	28~29	24	4~5	84~86	28	28~29	26	2~3	84~86
特別活動		1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3
総合的な学習の時間		1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3
総計		30	30~31	30~31		90~92	30	30~31	30~31		90~92	30	30~31	30~31		90~92	30	30~31	30~31		90~92	30	30~31	30~31		90~92
選択の方法		△印から1科目2単位 ○印から3科目6単位 (学) 大学教養は自由選択					○印から2科目4単位 (学) 大学教養は自由選択					△印から1科目2単位 ○印から3科目6単位 (学) 大学教養は自由選択					○印から2科目4単位 (学) 大学教養は自由選択					△印から1科目2単位 ○印から1科目2単位 (学) 大学教養は自由選択				

生徒指導部

はじめに

この10年は、府立高校における入試制度がめまぐるしく変更された時期であり、中学生並びに保護者が、また本校においてもその対応に翻弄された時期でもあったと考えられる。

そのような中、本校はB-u pタイム（学び直し）により学習習慣の確立と基礎学力の定着をはかり、一方では特進コースの開設により難関大学・難関専門学校への合格をめざし生徒の多様な進路実現に向けて取り組んで来た。「時には厳しく」、「時には温かく」を合い言葉に、教職員全員で生徒と本気で向かい、「安心」「安全」な学校創りが行えたと考えられる。

1. 欠席・遅刻指導

(表I) 欠席・遅刻統計

		年									
		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
欠席	合計	6599	7153	5016	4047	5706	3830	3669	2904	3895	3306
	平均	36.3	36.2	25.5	20.8	30.5	19.4	18.0	16.1	20.5	17.6
遅刻	合計	2339	2260	2099	1595	1466	978	825	865	1026	977
	平均	13.4	12.9	12.1	9.3	8.0	5.5	4.6	4.9	5.7	5.5

遅刻数においては、前の10年（96年から05年）までは、年間総数3000台から2000台に減少させ、さらに2000台前半を維持した期間であった。この10年においては、2000台前半から1000台に、さらに1000を切るまで大きく減少させた。

欠席数においても同様の傾向を示している。前の10年においては、年間総数8000台から5000台を推移していたものを、この10年においては、およそ3000台にまで大きく減少させた。特に2013年（35,36,37期生）においては3000を切るところまで減少させた。

この間に大幅な減少を成し遂げた要因の一つとしては、以前より行っていた朝の立ち番における、登校指導の一つである追い上げ指導を現在も粘り強く継続していることがあげられる。要因の二つ目に、ある時期において、学校が生徒に対して1段階上の結果を求めたことによるものである。一段階上の結果を生徒に求めるということは、教職員の生徒に対する期待であり、信頼の現れであったと考えられる。またこのことは教職員にも一段階上の指導を求められることでもある。生徒、教職員共に、本気で一段階上の自分をめざし、柏原東を変えようとした結果であると考えられる。

またこの時期生徒会との協同により、部活動の活性化を図り、生徒が活気ある学校生活を送れるように側面からの支援できたことも大きかったと考えられる。

これからの10年においては、これまでの行ってきた生活規律・授業規律を重視した指導を基本としながら、多様な生徒に対応できる学校をめざす必要があると考えられる。



2. 制服



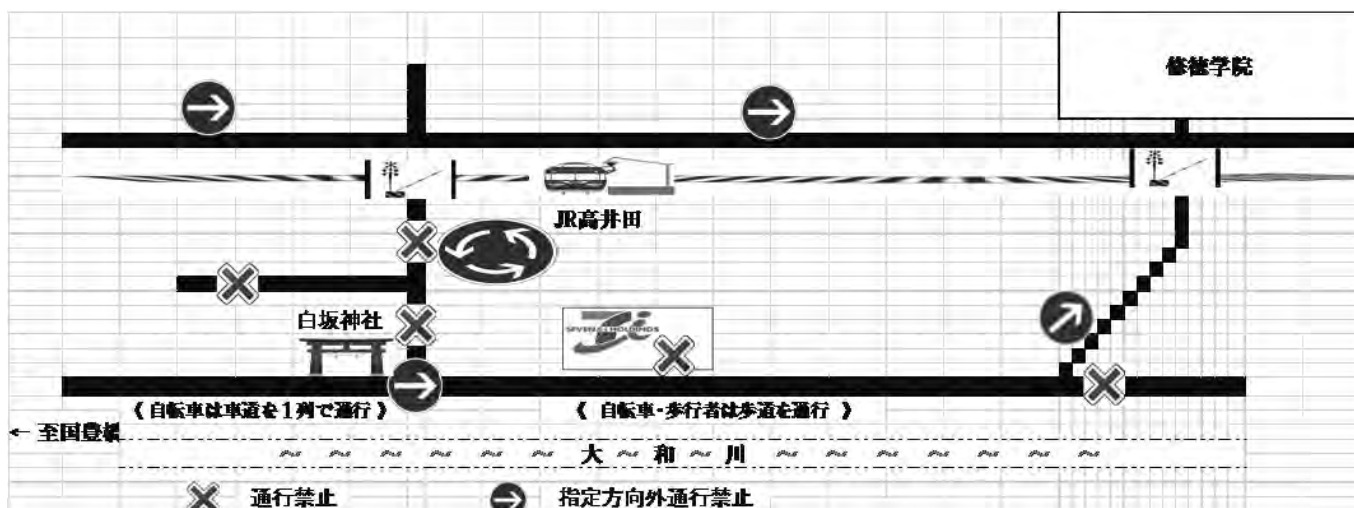
(図 I) 現在の制服

30周年の際に制服の改訂を行い現在に至っている。シャツのデザインは特徴的で柏東生であることが一目で分かるようになっている。デザインにおける改訂はしていないが、素材においては強度を高くし、家庭でも洗濯できるウオッシュャブルへの変更を行った。また女子のスラックスの導入に向けて検討中である。

3. 通学路変更

本年、周辺地域からの要望・柏原警察の指導、また修徳学院・青山台の協力により通学路変更を行った。

① J R 高井田駅周辺



② 学校付近 (青山台)

グラウンド横道路の右側車道部分を通行していたものが、青山台の方々の配慮により歩道を通行できるようになった。

進路指導部

基本目標

アベノミクスによる経済の活性化が、一昨年度8月以降の追加求人
の多さに繋がっている。景気回復の気配を漂わせているものの、日銀
のマイナス金利政策や1年後の消費税アップと経済に不穏な影を漂わ
せている。この状況の中で特に力を入れなければならないことは、社
会人として求められる能力（特にコミュニケーション能力）を持った
高校生をいかに育てるかということである。ゆくゆくは自立して学び、
判断し、行動できる資質を持った高校生を育て、自信を持って社会に
送り出せるよう指導をさらに強化していく必要がある。

進学では、指定校推薦入試で進学するのが基本であるが、公募推薦
や一般入試での挑戦をする者もいる。その為には何よりも学力の底上
げが必要である。また、指定校推薦枠の拡大やAO入試への対応なども考えて、生徒の進学希望を実現する手立
てを増やしていくことが今後の課題である。また、専門学校進学者に対して早期決定をしながら辞退を申し出る生徒
が出てきたので、適切な選択を指示・指導する必要がある。

就職・進学とも、3年生だけではなく、1年生からの3年間を見通し、さらに一つ上を目指すことができるよう
な一貫した進路指導を考えていくことが必要だと思われる。



職業体験

I. 進路指導全般

- (1) 生徒個々の適性、能力を伸ばし、実社会においてたくましく生きる力をつける。
- (2) 将来の生き方を主体的に選択、目標を実現する自立性を持たせる。
- (3) 情報は整理した上で出来るだけ公開し、個々の能力・適性・希望に応じた進路の実現を目指す。
- (4) 生徒を主体的に進路に関する活動をさせるため、HRの活発化、その他教科内外の時間などの活用による
生徒中心の指導を目指す。そのため、HR計画を中心に、3年間を見通した進路指導計画を事前に作成する。

II. 相互協力体制の確立

- (1) 学年・教科・他分掌との連携を緊密化し、相互協力して総合的な指導を図る。
- (2) 情報収集・伝達、及び知識を部内と学年等に平均して徹底させる。
- (3) 就職・進学の変化が激しい中でその状況に対応するために研修をする。

III. 進学指導

- (1) 生徒たちが自分の能力適性にあった学校選びができるように的確な情報提供を心がける。
- (2) 進学講習、模擬試験などを通して、学力アップを図る。
- (3) 一つ上のランクが目指せるような学習環境を作る。
- (4) 進学に必要な学費について、奨学金等の指導をする。



		大学	短大	専門学校	就職	その他	卒業者数
28期	男	20	3	31	34	6	94
	女	1	8	32	41	22	105
	計	21	11	63	75	28	199
29期	男	16	1	21	39	4	81
	女	4	16	27	44	6	97
	計	20	17	48	83	10	178
30期	男	13	0	13	47	6	79
	女	4	10	12	46	9	81
	計	17	10	25	93	15	160
31期	男	21	0	23	32	6	80
	女	13	13	18	29	12	85
	計	34	13	41	61	18	165
32期	男	24	3	15	52	5	99
	女	18	19	25	26	8	96
	計	42	22	40	78	13	195
33期	男	24	2	21	38	7	92
	女	12	20	32	43	9	116
	計	36	22	53	81	16	208
34期	男	34	1	19	53	4	111
	女	10	24	23	44	6	107
	計	44	25	42	97	10	218
35期	男	19	1	23	48	0	91
	女	5	11	29	58	8	111
	計	24	12	52	106	8	202
36期	男	11	0	26	64	11	112
	女	3	4	20	49	14	90
	計	14	4	46	113	25	202
37期	男	19	1	19	58	7	104
	女	9	7	21	60	6	103
	計	28	8	40	118	13	207

IV. 就職指導

- (1) フリーターにならないという意志を持たせ、労働意識を強く育てる。
- (2) 個別指導に力を入れ社会に旅立つ生徒たちの不安をできる限り取り除くよう努力する。
- (3) 将来を見据えた人生設計ができるよう、堅実な意識を育てる。

主な就職先・進学先

28期	就職先	近畿日本鉄道、上新電機、パナソニックサイクルテック、ジェイテクト、セブン化学、蓬萊、萬栄、万代、ライフ他
	進学先	大阪学院大、大阪商業大、奈良大、天理大他 関西女子短、夕陽学園短、大阪城南短、大阪女子短他 大阪労災看護、河内長野看護、清恵会医療、行岡医療技術、小坂病院看護他
29期	就職先	近畿日本鉄道、カネボウ化粧品、上新電機、フジキン、パナソニックサイクル、セブン化学、蓬萊、萬栄、ライフ他
	進学先	関西福祉科学大、大阪商業大、阪南大、大阪学院大、四天王寺大、関西看護医療大他 関西女子短、大阪女子短 大阪樟蔭女子大学短、近畿大学短、大阪国際大短他 行岡保健衛生学園、近畿医療技術、大病協看護(准)他
30期	就職先	大阪ガス、シャープ、カネボウ化粧品、きんでん、近畿日本鉄道、ニチパン、ライフ、萬栄他
	進学先	関西福祉科学大、大阪商業大、阪南大、大阪学院大、大阪産業大、関西看護医療大他 関西女子短、大阪女子短 大阪樟蔭女子大短、関西女子短、大阪女子短他 近畿医療専門、行岡鍼灸専門、関西医療技術専門他
31期	就職先	きんでん、近畿日本鉄道、カネボウ化粧品、パナソニックサイクルテック、ライフ、萬栄、千鳥屋総本家他
	進学先	大阪学院大、大阪国際大、関西福祉科学大、阪南大、大阪商業大、四天王寺大他 関西女子短、大阪樟蔭女子短 大阪夕陽学園短他 大阪保健福祉専門、清恵会看護専門、小坂病院看護、大阪ハイテクノロジー専門他
32期	就職先	西日本旅客鉄道、きんでん、パナソニックサイクルテック、ニチパン、ジェイテクト、ライフ、ビックカメラ、林一他
	進学先	阪南大、四天王寺大、関西福祉科学大、摂南大、大阪芸術大、大阪商業大、関西看護医療大他 藍野学園短、 関西女子短、大阪女子短、常磐会短他 履正社医療スポーツ専門、大阪医療技術専門、大阪教育福祉専門他
33期	就職先	大阪ガス、ジェイテクト、山崎製パン、ライフ、萬栄、蓬萊、岡村製油、トヨタカローラ南海、柏原計器、錦城護謨他
	進学先	京都女子大、摂南大、追手門学院大、阪南大、大阪芸術大、四天王寺大他 関西女子短、大阪女子短、大阪城南短、常磐会短、 大阪国際短他 藍野学院短、宝塚大、大阪府医師会看護専門、大阪教育福祉専門、大阪情報コンピュータ他
34期	就職先	西日本旅客鉄道、ジェイテクト、トヨタカローラ南海、近鉄バス、山崎製パン、近商ストア、セブン化学、萬栄他
	進学先	国士舘大、大阪商業大、阪南大、四天王寺大、奈良大、大阪電気通信大、常磐会学園大、宝塚大他 関西女子短、 大阪女子短、四天王寺短、大阪キリスト教短、常磐会短他 大阪府医師会看護専門、大阪ハイテクノロジー専門他
35期	就職先	ジェイテクト、ビックカメラ、住吉大社、萬栄、近商ストア、柏原計器、日本コルマー、富士電線、ネットヨタ南海他
	進学先	大阪商業大、大阪電気通信大、阪南大、関西福祉科学大、常磐会学園大、四条嚙学園大、梅花女子大他 大阪女子大 藍野大学短、大阪国際大短、大阪学院大短他 大阪府病院協会看護専門、大阪医専、奈良リハビリテーション専門他
36期	就職先	ジェイテクト、ビックカメラ、住吉大社、萬栄、近商ストア、イーストボーイ、ワールドストア、セブン化学、ヤマダ電機他
	進学先	天理大、阪南大、大阪商業大、大阪芸術大、四天王寺大、大阪産業大、梅花女子大他 大阪女子短、大阪千代田短 大阪府病院協会看護専門、大阪ハイテクノロジー専門、日本歯科学院専門、阪奈リハビリテーション専門他
37期	就職先	西日本旅客鉄道、萬栄、蓬萊、ビックカメラ、イーストボーイ、柏原計器、日本コルマー、カネボウ化粧品販売他
	進学先	近畿大、桃山学院大、阪南大、大阪産業大、関西科学福祉大、大阪商業大、大阪樟蔭女子大、帝塚山学院大 ハートランドしぎさん看護専門、修成建設専門、平成リハビリテーション専門、大阪ハイテクノロジー専門、大阪国際福祉専門

生徒会部

現在の柏原東高校の生徒会活動は、前任の先生方が構築されたシステムをもとに、細かい変革を重ねながら進めています。時代とともに変わっていくニーズに対応し、充実した学校生活の一端を担うべく、これからも尽力してまいります。

<新入生歓迎行事>

新学期が始まって最初に行う行事が、新入生歓迎行事です。入学式前に体育館前でビラを配りながら行うクラブPRにはじまり、クラブ員による入学式での校歌披露、新入生の前でパフォーマンスを行い勧誘するクラブオリエンテーションなど、クラブ員が中心となって新入生を歓迎し、1日でも早く柏原東高校の生活に慣れる為の手伝いを行っています。

<体育祭>

柏原東高校最大の学校行事である体育祭。19期生の年に体育祭の改革が進められて以来、3年生を中心に縦割りの団を構成し、応援合戦・スタンド応援・応援看板・応援旗の4つのパートが趣向を凝らした団活動を繰り広げています。各団が応援スタンドに設置された応援看板を背に、手作りの太鼓やマラカスを打ち鳴らし、旗を振りながら声を枯らして応援する姿は、今も昔も変わらず見る者を熱くさせてきました。そして体育祭の最終演目である2・3年生によるマスゲーム・エッサッサ。小旗やポンポンを用いて、統一された動きで踊り、人文字を浮かび上がらせる女子のマスゲーム。そして男子による組体操とエッサッサ。静寂につつまれたグラウンドに響き渡る太鼓と生徒による掛け声の迫力に圧倒され、ただただその演技に釘付けになります。

この良き伝統は、毎年後輩たちへと継承されています。「来年は自分が団長をやるんだ!」という2年生の声を毎年聞ける喜びを感じながら、さらなる体育祭の発展を進めてまいります。





<サマーキャンプ>

かつては『リーダー研修』と呼ばれていたサマーキャンプは、現在では毎年7月中旬に1泊2日で実施されています。自主性・積極性・協調性を養う機会として、また学年を超えた繋がりを作る場となっており、毎年30人前後が参加しています。

サマーキャンプ中は、模擬討議・飯盒炊爨・料理コンテスト・キャンプファイヤー・レクリエーションなど、生徒が企画し運営し、『自分が積極的に行動すること』『他者を思いやって行動すること』の大切さを学んでいき、生徒たちにとっては、文化祭や体育祭の中心的な役割を担っていく原動力になっています。



<文化祭>

例年10月の下旬に行われている文化祭は、各クラス単位での企画になるため、夏休み前から準備が始まっていきます。2年生では、修学旅行の時期と重なるため少ない準備期間となりますが、毎年クラスのカラーを表す企画が練られ、年々その内容も充実してきています。近年では、身近にスマートフォンが普及し、簡単に動画撮影・編集ができるようになったことが影響してか、映像作成部門の人気が高まっています。また、各クラスの企画の広告塔としての役割を担う『垂れ幕』も、文化祭の見所としてすっかり定着してきました。体育祭では上級生が主導してくれた1・2年生も、この文化祭ではクラスでの活動になり、クラスメイトの新たな一面の発見など、クラスの団結に大きく貢献している文化祭が毎年作り上げられています。



<クラブ活動>

現在、運動部12、文化部9の合計21の団体があり、クラブ員たちは日々自己研鑽しています。近年、部活動加入率が徐々に増加し、現在では約40%前後の生徒たちがクラブ活動に参加しています。クラブ員は、日頃の活動だけでなく、学校の様々な場面で活躍してくれ、まさに『柏原東の広告塔』として頑張っています。

<生徒会執行部>

現在、生徒会長1名、副会長2名、書記2名、会計2名の合計7名で活動しています。体育祭や文化祭、球技大会など学校行事の運営や、文化祭で披露する生徒会企画の作成など、学校行事に欠かせない存在となっています。また、募金活動や柏原市生徒会サミットへの参加、八尾市・柏原市の公立高校の交流会への参加など、その活動は校外へと広がっています。



私は、柏原東高校へ入学した生徒一人ひとりが、学校行事やクラブ活動を通じて互いに高めあい、人間として成長し、卒業後もその思い出を心にしまっておいて自立してくれることを願っております。そのためには、生徒指導や進路指導だけでなく、生徒会活動が担う役割は非常に大きいと感じています。今後とも『柏原東に入って良かった』という思い出を1つでも多く生徒の心に残せるように頑張っていきたいと思っております。

保健部

創立から40年の歳月が流れました。この10年の間に制服も変わり、生徒の様子も変わってきました。期待と不安で入学してきた1年生も3年間の学校生活（授業、各行事、部活動など）を規則正しく送り、一人一人が自信を回復し、前向きな生活を経て、たくましく立派に成長し、巣立っていきます。

保健部として、生徒の学習環境を整え、日々の学校生活を安全に安心して送れるよう、心身共に支援し、奨励していくことに力を尽くしたいと考えています。

様々な年間行事を生徒主体で運営しており、毎年の総括を経て、課題を整理し、教訓を引き出し次年度に生かしています。各行事の写真を記録し、引継ぎにも活用しています。

1. 検診活動

（心臓検診・結核検診・内科検診・歯科検診・身体計測・尿検査・部活動検診・修学旅行前検診・持久走前検診）



体育館で各学年が整列



身長・体重・視力検査



2. 清掃活動

（教室・廊下・トイレ・水飲み場・階段・各講義室・各実験室校外清掃は各学期始業式・終業式に順次実施）



ゴミ箱を2013年に一斉に統一し、教室には可燃ごみのみ、各フロアに分別ごみ箱（可燃・缶、ビン・ペットボトル）を設置している。

先生方のご指導のもと、生徒は熱心に清掃活動に取り組んでいる。

2013年度より「燃えるごみ」「ペットボトル」「ビンカン」に分別しています。



3. 講演会活動

(1年性教育講演会・喫煙防止講演会・3年性教育講演会・薬物乱用防止教室・救急講習会・歯磨き教室)



1年性教育講演会



薬物乱用防止教室



はみがき教室



救急講習会



4. 避難（防災）訓練（柏羽藤消防署の指導のもと春と秋に実施、防災研修）



秋の防災訓練



12月防災研修



5. 生徒保健委員会（体育祭保健係・文化祭研究発表）



文化祭での研究発表



体育祭救護テント

6. 生活実態アンケート調査（5年継続）

（データから養護教諭が考察し学校保健委員会で発表、生徒保健委員が文化祭でも発表）

7. 学校保健委員会（三師・教員・PTA代表で生徒の現状について意見交換）

8. 教育相談委員会との連携

ひとりひとりが過ごす時間は3年間ですが、その1日1日が積み重なって40周年を迎える事ができました。いよいよ、50周年（半世紀）に向けて第一歩を踏み出します。「熱く、厳しく、あたたかく」という本校のモットーを大切に、生徒一人一人が元気に明るく生き生きと柏東高校生活を送れる事を祈念します。

総務部

<PTA活動>

柏原東高等学校のPTAは、学校創立時期と同じく昭和52年4月8日の第1回PTA総会にて設立が認められて以降活発に活動をし、今年度で40周年を迎えることとなりました。

PTA創立準備委員会の皆様方のご尽力により設立されたPTAは、子どもたちの健全な成長と柏原東高等学校の教育の発展及び会員相互の親睦と文化向上を図ることを目的とし、数多くの取り組みが行われてきました。

私たちは、多くの行事を通じて、教職員の皆様方や地域の方々との交流を図り、子どもたちとともに成長しつつ新たな伝統の一ページを刻むとともに、多くの素晴らしい思い出を作ることができました。

「親と子の進路研修会」では、親子で子どもの将来の進路について話すきっかけを与えていただき、また「社会見学会」では日常を離れ、日頃できないような有意義な経験と貴重な思い出を作ることができました。

また、体育祭・文化祭をはじめとする学校行事への参加や下校指導などを通じ、子どもたちの学校生活におけるありのままの姿を目にするすることができ、子どもたちと教職員の方々とのあたたかい交流を実感できました。私たち保護者と年頃の子どもの相互理解を深めることもできました。

PTA広報誌「柏東」もPTA設立当初より発刊され、内容を充実させながら年2回の発刊を続け、現在では第76号を数えるまでとなりました。

今回の創立40周年を機に、益々発展し続ける柏原東高等学校であることを祈念するばかりです。



平成28年度PTA役員



<社会見学会>
京都方面（嵯峨野・嵐山～錦市場）
トロッコ電車に乗って初秋の嵯峨野・嵐山を見学し、
京の伝統文化と味覚を満喫してきました。



<下校指導>
通学路における下校指導(年2回予定)で挨拶や交通ルール・マナーの徹底を呼びかけています。



<親と子の進路研修会>

平成 28 年度 P T A 事業計画

月	日	曜日	事業名
5月	14日	(土)	平成 27・28 年度 P T A 総会
	28日	(土)	第 1 回 実行委員会
6月	4日	(土)	第 2 回 実行委員会
	28日	(火)	第 40 回 体育祭
7月	9日	(土)	第 1 回 P T A 下校指導
	30日	(土)	第 3 回 実行委員会
8月	26日	(金)	親と子の進路研修会
	10日	(土)	P T A 新聞「柏東」76 号発行
9月	25日	(日)	第 4 回 実行委員会
	22日	(土)	P T A 社会見学会
10月	28日	(金)	第 5 回 実行委員会
	12日	(土)	第 40 回 文化祭
11月	13日	(日)	創立 40 周年記念式典・祝賀会
	10日	(土)	青山台大清掃
12月	10日	(土)	第 6 回 実行委員会
			第 1 回 指名委員会
<平成 29 年>			
2月	13日	(月)	第 2 回 P T A 下校指導
	28日	(火)	P T A 新聞「柏東」第 77 号発行
3月	1日	(水)	第 38 回 卒業式
	17日	(金)	P T A 活動紹介 (合格者説明会)
	25日	(土)	第 2 回 指名委員会
4月	10日	(月)	第 41 回 入学式
	15日	(土)	第 7 回 実行委員会
			平成 28 年度 会計監査委員会

大阪府立柏原東高等学校 P T A 役員一覧 (過去 10 年)

年度 (西暦)	平成	会 長	副会長	副会長	副会長	書 記	書 記	会 計	会 計	会計監査	会計監査	会計監査
2016	28	泉 高弘	俵石志津子	山本 千枝	武田 保和	金平 光司	中島 千春	新井 和代	西村 広美	山本 忠男	金平由美子	岡 加寿美
2015	27	中間 大作	大塩 紀子	俵石志津子	山本 千枝	泉 高弘	武田 保和	川股 文子	金平 光司	末 廣行	中間 利香	新井 和代
2014	26	末 廣行	野村 栄子	西本 昌敏	俵石志津子	中間 大作	泉 高弘	大塩 紀子	山本 千枝	里山 博美	中間 利香	次田 逸子
2013	25	末 廣行	吉見 静香	岡 加寿美	野村 栄子	中間 大作		佐倉 由美	中間 利香	近藤日出男	西本 昌敏	里山 博美
2012	24	中間 大作	宮田ひとみ	中間 利香	吉見 静香	末 廣行	西本 昌敏	佐倉 由美	新田 洋子	新井 和代	河田 洋子	近藤日出男
2011	23	泉 高弘	新田 洋子	宮田ひとみ	中間 利香	中間 大作		高尾千雅子	佐倉 由美	新井 和代	河田 洋子	富永 和幸
2010	22	泉 高弘	鳩間智緒利	新田 洋子	宮田ひとみ	中間 大作		里崎 広美	佐倉 由美	中村 由子	高尾千雅子	新井 和代
2009	21	山本 忠男	仲村加代子	山本 千枝	鳩間智緒利	田中 一憲		岩城 広美	中村 由子	今井 君枝	松元 恵子	泉 高弘
2008	20	初瀬 勝彦	森下 嘉弘	山本 千枝	仲村加代子	山本 忠男		岩城 広美	福山その江	橋詰美世子	石川 厚美	松元 恵子
2007	19	初瀬 勝彦	日置 紀子	山本 忠男		森下 嘉弘		久木田いつき	東 邦子	高橋美由紀	佐倉 由美	仲村加代子

教職員一覧 (平成19年~平成28年)

		H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
校 長	木村 重房										
	岸田 良										
	梶川 哲郎										
	山根 眞一										
	水元 誠致										

教 頭	竹内 健二										
	美濃 幸男										
	永井 巨										
	中村 泰孝										
	横山 香月										
	瀬川 陽一										
	西田 悟										
	東 正浩										

首 席	田中 清隆										
	近田 直人										
	池内左知子										
	山畑須美子										
	田中 正孝										
	吉野 達也										

指導教諭	伊藤万紀子										
------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

国 語	今井喜美江										
	植松健一郎										
	加藤 郁夫										
	坂井よし江										
	田村 逸子										
	富澤 妙子										
	藤田 一孔										
	村田 知子										
	大田 康子										
	井上 基恵										
	松村 洋子										
	三藤 登										
	田中 唯斗										
	櫻井 愛										
	川向 直美										
	釘田 直久										
	長尾 美香										
	中山 亮平										
	松尾 省三										
	山路 孝司										
	杉本 陽子										
	小林 妙子										
	谷下 未来										
	高根 秀人										
	松島 美穂										
	脇坂 幸恵										
	落合 健夫										
	河野 沙紀										
	向井 文彦										



地歴・公民

	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
後藤 修三										
小林 利明										
田中 清隆										
鳥井 弘枝										
橋田 正人										
吉岡 哲										
荒井 通雄										
木村 優子										
久保 典子										
矢倉 正水										
藤 まりこ										
櫻井 裕子										
草葉 康暢										
浅田 隆裕										
藤岡 裕也										
今井 章平										
淵上 孝平										
稻田 将人										
大西 利也										
林 耕一										

数 学

岩石 哲夫										
梶 修										
徳永 克也										
中村 泰幸										
松場 弘子										
山畑須美子										
吉田 真誉										
黒田 直美										
柴 典子										
外山 泰三										
田中 宏										
上田 育利										
河村 茂										
泉本 貴彦										
岩田 勝治										
杉山 敦史										
木山 雄太										
宮本 脩平										

理 科

池田 正										
中谷 智喜										
平井 俊男										
広野 森										
藤田 薫										
東 真由美										
芦田 良輔										
坂野 尚子										
榎本 隆一										
片柳 政一										
芝本 隆文										
寺井 浩紀										
谷 啓輔										
玉置 博通										
川田 明寛										

教職員一覧

		H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
理 科	川本 雅哉										
	花岡 宗憲										
	津波古聖矢										
	中西 宏彰										

保健体育	近田 直人										
	枚本 恵勇										
	勝瑞 真美										
	富山 治正										
	長田 貴史										
	人見 周太										
	松浦 昭彦										
	丹沢 正太										
	進藤 真希										
	池内左知子										
	松村 郁弘										
	白潟 朋枝										
	野澤 真理										
	前田 富夫										
	吉野 達也										
	田中 正孝										
	石井 悠太										
	船引 陽兵										
	宝本 力										
	太田 寛人										
高橋 靖直											
木次 裕一											
森口 知香											
阿波 和雄											
尾方 優佳											
國田 純子											
中辻 伸哉											

芸 術 (音楽)	中村 和子										
	玉井 一実										

芸 術 (美術)	柏谷 弘子										
	西田 悟										
	中原 裕美										
	野村 友樹										
	今中 紗織										

芸 術 (書道)	村田喜美恵										
	東 正浩										
	布澤 芳人										
	小林真由香										
	上原 由子										
	河野 駿										

外国語 (英語)	有本勢以子										
	古金千恵子										
	仙崎 裕右										
	中村 健										
	平瀬 昭弘										
	吉村 信義										



		H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
外国語 (英語)	伊藤万紀子										
	三宅 正英										
	松下 信子										
	照屋 雄大										
	八倉千佳子										
	國近 千明										
	秋田 麻衣										
	小次由里子										
	山口 作光										
	大山 貴史										
	寺岡亜里紗										
	小路 竜一										
	大田 和孝										
関 真吾											
情報	竹中 恵										
	三浦 清茂										
家庭	岩佐 千晶										
	岸 貴子										
	原田 恵子										
	愛洲 智子										
	長島 裕子										
	詫間 晋二										
	北丸 佳香										
	一井 敏枝										
野口多津子											
養護	藤本 聡子										
	前川 啓子										
	乾 佐智子										
	道上 知佳										
	谷口友加里										
	堅田 恵子										
	中嶋絵里加										
	松浦 好実										
	廣末 千尋										
	萬 ゆき子										
	西脇 由華										
	小谷 真希										
	佐藤 碧絵										
嵯峨 薫											
総括実習教員 実習教員	五十嵐正恵										
	竹田 裕										
	杉本 節子										
	阿曾 洋一										
	三浦 良重										
	西口 美清										
	北浦智代子										
事務長	嶋田 博司										
	石之野祐作										
	松永 克己										
	東 浩一										

教職員一覧

		H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
主 査	志度 誠										
	山内 義雄										
	石田 智恵										
	百軒由香子										
副主査	梶本雷太郎										
	門田あゆり										
	石原さわ子										
主担主事	西川 龍子										
	梶本雷太郎										
	西村 伸明										
	小川 紗季										
技 師	前田 逸郎										
学校医 学校医 歯科医 薬剤師	中西 三郎										
	中西 一絵										
	島田 英司										
	米川 正美										



創立40周年記念事業 寄贈品



クイックテント
(アルミ製: 3m × 6m) 6張 (体育館倉庫)



分割式ストレッチャー (保健室)



マグナムスターター
(電子音式スターターマシン: 体育教室)



マフラータオル (20cm × 110cm)



紅白幕 (体育館2階フロアー壁全面)



ノーパンク車いす (保健室)



大型製氷機
(最大ストック 190kg: 体育館2階)



クリアファイル (A4版)



壁掛け式大型時計
本館屋外壁面太陽電池式大型時計 (直径 70cm)



体育館屋外壁面太陽電池式大型時計
(直径 45cm)

編集後記

柏原東高校が創立されて40周年を迎えました。30周年記念誌発行から10年、柏原東高校にとっては、変革の10年であったように思います。31期生入学時には、学区再編にあわせ制服を一新。男女共ブレザーになりました。35期生入学時には、柏原7中学（当初は6中学）との連携型中高一貫教育に係る入試が導入され、地元柏原との結びつきが強くなりました。入試制度がめまぐるしく変化する中、創立当初からの厳しい生徒指導を守りつつ、平成24年度より4年連続就職率100%の実績を出し、さらに高い目標を持つ生徒への進学指導として「特別進学コース」を設置、全ての生徒の自己実現の礎となる基礎学力補充のために「B-upタイム」の実施等、大きく飛躍した10年でありました。50周年を迎えるころには、さらなる飛躍を遂げていることと期待しています。

このたび、創立40周年記念誌の発行に際しまして、PTA・同窓会をはじめ多くの皆様にご協力いただき、写真・原稿等、生徒たちの生き生きとした姿や変化を見ていただける記念誌となりましたことを深く感謝いたしますとともに、これからも柏原東高校をあたたく見守り、育てていただけますことを編集委員一同心よりお願いいたします。

編集委員一同

【記念誌編集委員】

西田 悟	東 正浩	山畑須美子	吉野 達也
太田 寛人	榎本 隆一	玉井 一実	高橋 靖直
川田 明寛	河村 茂	伊藤万紀子	仙崎 裕右

大阪府立柏原東高等学校 創立40周年記念誌

発行日 平成28年11月12日

発行者 大阪府立柏原東高等学校

〒582-0015 柏原市高井田1015

TEL：072-976-0501 FAX：072-977-4807

印刷所 株式会社国際印刷出版研究所

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3-11-34

TEL：06-6551-6854 FAX：06-6551-0288